



2015年3月期 第2四半期 決算説明会

富士重工業株式会社

取締役専務執行役員CFO 高橋 充

2014年10月31日

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>



2015年3月期 第2四半期累計実績

- ▶ 新型レガシィの導入が始まった北米を中心に、海外での販売が好調に推移し、第2四半期累計期間として、過去最高の販売台数を記録
- ▶ 販売台数の拡大に加え、為替レート差、原価低減の進捗により、費用の増加を打ち消し、第2四半期累計期間として過去最高の売上高、各利益を記録

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	連結販売台数
実績 (対前年実績)	1兆3,102億円 (+1,846億円)	1,857億円 (+350億円)	1,760億円 (+297億円)	1,130億円 (+132億円)	431.6千台 (+39.0千台)

2015年3月期 計画

- ▶ 好調な北米販売や想定為替レートの変更を織り込み、業績計画を上方修正
- ▶ レガシィ、アウトバック、レヴォーグなど新型車投入効果により、諸経費等の費用増加を打ち消し、売上高、各利益、連結販売台数において3年連続での過去最高業績を見込む

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	連結販売台数
計画 (対前年実績)	2兆7,800億円 (+3,719億円)	3,820億円 (+555億円)	3,700億円 (+556億円)	2,410億円 (+344億円)	909.4千台 (+84.3千台)



2015年3月期 第2四半期累計 実績

第2四半期累計 連結完成車販売台数



(千台)

	2014年3月期 2Q累計 実績	2015年3月期 2Q累計 実績	増減
登録車	61.7	56.5	▲5.3
軽自動車	25.6	15.1	▲10.5
国内合計	87.3	71.5	▲15.8
米国	208.9	249.9	+41.0
カナダ	18.7	22.1	+3.4
ロシア	6.8	8.6	+1.8
欧州	15.3	15.6	+0.3
豪州	21.3	19.3	▲2.0
中国	18.9	28.7	+9.8
その他	15.4	15.9	+0.5
海外合計	305.3	360.1	+54.8
合計	392.6	431.6	+39.0

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～6月

3

2015年3月期 第2四半期累計の連結販売台数は、第2四半期累計期間として過去最高となる、43万1千6百台となりました。

国内では、新たに投入したレヴォーグや、新型WRXは好調に推移したものの、消費税増税の影響により、前年同期比1万5千8百台の減となる、7万1千5百台となりました。

海外では、フルモデルチェンジを行ったレガシィが順調なスタートを切り、フォレスターなど、既存車種の販売も好調な米国市場がけん引役となり、5万4千8百台の増となる、36万1百台となりました。

第2四半期累計 連結業績



(億円)

	2014年3月期 2Q累計 実績	2015年3月期 2Q累計 実績	増減
売上高	11,256	13,102	+1,846
国内	3,306	2,928	▲378
海外	7,951	10,174	+2,224
営業利益	1,507	1,857	+350
営業外損益	▲45	▲97	▲52
経常利益	1,462	1,760	+297
特別損益	▲9	▲13	▲3
税前利益	1,453	1,747	+294
当期純利益	998	1,130	+132
単独為替レート	¥98/US\$	¥102/US\$	+¥4/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

4

次に、連結業績です。

売上高、各利益ともに、第2四半期累計期間として、過去最高を記録しました。

売上高は、海外での売上台数増加による売上構成差の改善+1,376億円に加え、為替レート差+399億円、カンパニー等での売上増加+71億円により、前年同期比1,846億円の増収となる、1兆3,102億円となりました。

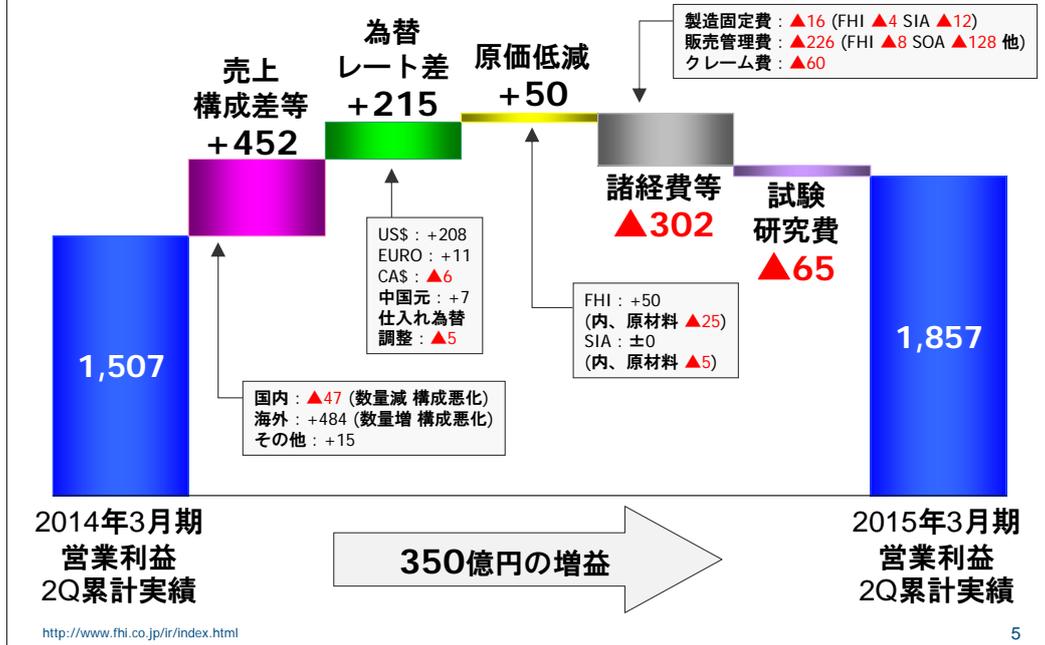
営業利益につきましては、諸経費や試験研究費の増加を、販売台数増加による売上構成差の改善や、為替レート差、原価低減の進捗で打ち消し、350億円の増益となる、1,857億円となりました。

経常利益は297億円の増益で、1,760億円、税前利益は294億円の増益で、1,747億円、当期純利益は132億円増益の、1,130億円となりました。

第2四半期累計 営業利益増減要因



(億円)



続きまして、前期実績1,507億円から、今期実績1,857億円へと、350億円の増益となった、営業利益増減要因です。

増益要因は、

<1>売上構成差等で+452億円です。内訳は3つに分かれます。

①新車国内は-47億円です。新型車レヴォーグや、新型WRXの導入は順調に進捗しているものの、消費税増税の影響により、軽自動車や既存車種の販売が減少し、数量、構成ともに悪化しました。

②新車海外は+484億円です。新型レガシィを導入した米国や、中国での販売台数増加が寄与しました。

③在庫調整等で+15億円です。

<2>為替レート差で+215億円です。

ドルは約4円の円安で+208億円です。ユーロは約10円の円安で+11億円、カナダドルは約2円の円高で-6億円です。中国円で+7億円、富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で-5億円となりました。

<3>原価低減で+50億円です。

そのうち、富士重工が+50億円、SIAは±0億円です。富士重工では生産台数の増加等により、原価低減が+75億円、原材料・市況等については-25億円となりました。SIAでは原価低減が+5億円、原材料等は-5億円となりました。

一方、減益要因は、

<4>諸経費等の増加で-302億円です。内訳は3つに分かれます。

①製造固定費の増加により-16億円です。そのうち、富士重工が-4億円、SIAは-12億円です。富士重工では、外製型費の減により+28億円、固定加工費の増で-32億円です。SIAでは、外製型費の増により-1億円、固定加工費の増により-11億円となりました。

②販売管理費の増加で-226億円です。富士重工では、海外向け販売台数の増加に伴う運賃梱包費の増加などから、-8億円となりました。国内ディーラーは+6億円、SOAは-128億円、カナダ子会社は-12億円、その他で-84億円となりました。

③クレーム費の増で-60億円です。

<5>試験研究費の増加で-65億円です。

以上で、2015年3月期 第2四半期累計の連結営業利益は、350億円の増益となる、1,857億円となりました。

連結貸借対照表



(億円)

	2014年3月末	2014年9月末	増減
総資産	18,884	19,868	+985
流動資産	12,738	13,096	+358
固定資産	6,146	6,772	+627
有利子負債	2,697	2,322	▲375
純資産合計	7,701	8,809	+1,109
利益剰余金	4,839	5,725	+886
自己資本	7,655	8,739	+1,084
自己資本比率	40.5%	44.0%	+3.5
D/Eレシオ	0.35	0.27	▲0.09

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

6

続きまして、バランスシートです。

総資産は、前期の税金や配当の支払いはあったものの、当期純利益の増加や、為替が円安に進行したことから、2014年3月末に比べ、985億円の増加となる、1兆9,868億円となりました。

有利子負債は、7月に社債の償還(40億円)があったこともあり、375億円の減少となる、2,322億円、純資産は1,109億円の増加となる、8,809億円となりました。

自己資本比率は44.0%、D/Eレシオは0.27です。

第2四半期累計 連結キャッシュフロー



(億円)

	2014年3月期 2Q累計 実績	2015年3月期 2Q累計 実績	増減
営業活動CF	1,579	1,347	▲232
投資活動CF	▲381	▲637	▲255
フリーCF	1,198	711	▲487
財務活動CF	▲243	▲627	▲384
換算差額	59	95	+37
手元資金増減	1,014	179	▲835
手元資金合計	4,305	5,758	-

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

7

連結キャッシュフローです。

営業活動によるキャッシュフローは、法人税等の支払い1,239億円があったものの、税前純利益1,747億円があったことなどから、1,347億円のキャッシュインとなりました。

投資活動によるキャッシュフローは、生産能力増強などに伴う投資活動があったことから、637億円のキャッシュアウトとなりました。

フリーキャッシュフローは、711億円です。

財務活動によるキャッシュフローは、借入金の返済や、配当の支払いなどにより、627億円のキャッシュアウトとなりました。

第2四半期累計 海外子会社業績



(Million US\$)

SOA	2014年3月期 2Q累計 実績	2015年3月期 2Q累計 実績	増減
売上高	5,179	6,313	+1,134
営業利益	117	218	+101
当期純利益	72	133	+61
小売販売台数(千台)	220.3	262.4	+42.1

SIA	2014年3月期 2Q累計 実績	2015年3月期 2Q累計 実績	増減
売上高	1,883	2,094	+211
営業利益	88	77	▲11
当期純利益	56	51	▲5
スバル生産台数(千台)	80.3	92.1	+11.8

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

8

SOAの小売販売台数は、フォレスター・XVおよび新型レガシィ・アウトバックの好調な販売により、対前年4万2千1百台増の26万2千4百台となりました。

売上高についても、\$1,134Mの増収となる\$6,313Mとなりました。

営業利益につきましては、数量・構成差+\$230M、販管費の増-\$129Mにより、\$101Mの増益となる\$218Mとなりました。

SIAの売上高は、\$211Mの増収となる、\$2,094Mとなりました。

営業損益は、数量価格構成差+\$1M、固定費増-\$12Mにより、\$11Mの減益となる、\$77Mとなりました。



2015年3月期 見通し

通期 連結完成車販売台数



(千台)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
登録車	126.1	125.7	▲0.4
軽自動車	55.5	40.8	▲14.7
国内合計	181.6	166.5	▲15.1
米国	441.8	513.2	+71.4
カナダ	36.0	40.7	+4.6
ロシア	15.3	18.7	+3.4
欧州	31.8	36.0	+4.2
豪州	39.5	38.2	▲1.3
中国	44.8	60.0	+15.2
その他	34.3	36.1	+1.9
海外合計	643.5	742.8	+99.4
合計	825.1	909.4	+84.3

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～12月 10

2015年3月期 通期の連結販売台数につきましては、90万9千4百台を計画します。国内市場での消費税増税影響を織り込み、第1四半期決算発表時の計画からは、世界全体で6千6百台の下方修正を行うものの、3年連続となる、過去最高販売台数の更新を目指します。

国内では、レヴォーグや、WRX、レガシィなど新型車の投入により、前年並みの台数を計画するものの、軽自動車の台数減により、前年同期比1万5千1百台の減となる、16万6千5百台を計画します。

海外では、好調を継続する米国市場や、各市場においても販売台数の拡大を図り、9万9千4百台の増となる、74万2千8百台を見込みます。

通期 連結業績



(億円)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
売上高	24,081	27,800	+3,719
国内	6,721	6,582	▲138
海外	17,361	21,218	+3,857
営業利益	3,265	3,820	+555
経常利益	3,144	3,700	+556
税前利益	3,289	3,640	+351
当期純利益	2,066	2,410	+344
単独為替レート	¥100/US\$	¥104/US\$	+¥4/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

11

次に、連結業績計画です。

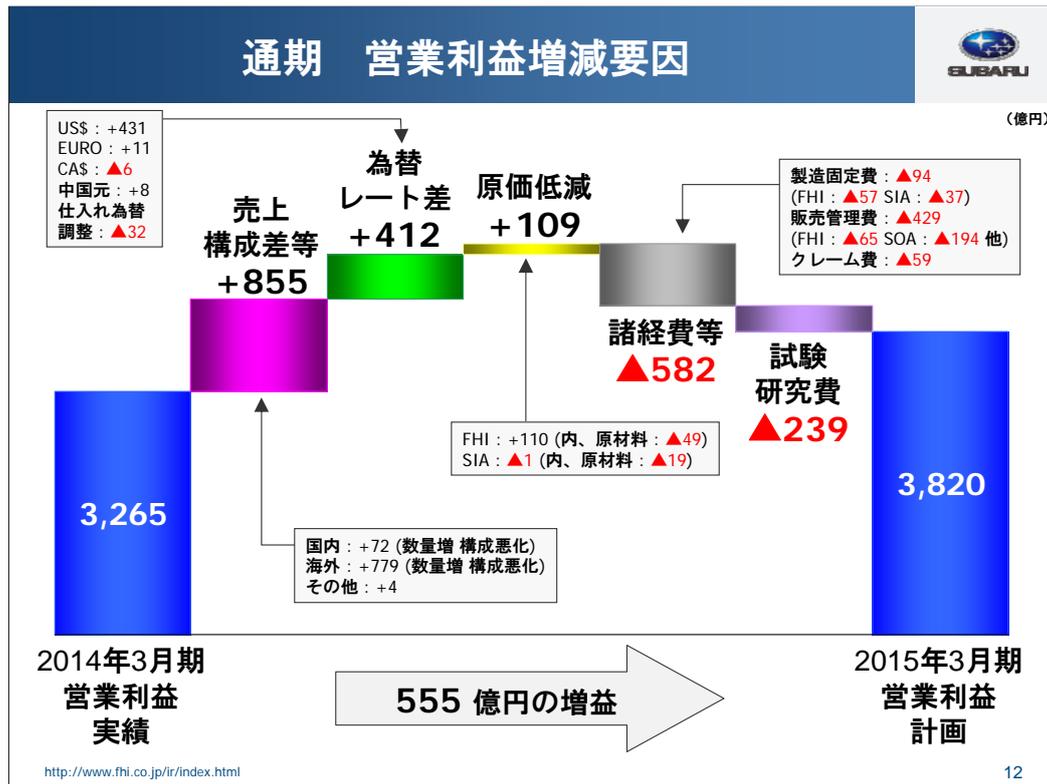
連結販売台数同様に、前回計画からすべての項目で上方修正を行い、3年連続での過去最高業績を目指します。

売上高は、海外での販売台数増による売上構成差の改善+2,917億円、為替レート差+710億円、カンパニー等での売上増加+92億円により、前年同期比3,719億円の増収となる、2兆7,800億円を見込みます。

営業利益につきましては、諸経費、試験研究費の増加を、販売台数増加による売上構成差の改善や、為替レート差、原価低減の進捗で打ち消し、555億円の増益となる、3,820億円を計画します。

経常利益は556億円の増益で、3,700億円、税前利益につきましては、351億円の増益となる、3,640億円を見込みます。

当期純利益は344億円増益の、2,410億円を計画します。



前期実績3,265億円から今期計画3,820億円へと、555億円の増益となる営業利益増減要因です。

増益要因は、

<1>売上構成差等で+855億円です。内訳は3つに分かれます。

- ①新車国内は+72億円です。新型車レヴォーグに加え、フルモデルチェンジを行ったレガシィやWRXによる新車投入効果を見込みます。
- ②新車海外は+779億円です。米国での販売台数拡大に加え、フォレスターやWRXが各市場で堅調に推移すると見込み、前年を大きく上回る計画です。
- ③在庫調整等で+4億円です。

<2>為替レート差で+412億円です。

ドルは約4円の円安で+431億円です。ユーロは約4円の円安で+11億円、カナダドルは約1円の円高で-6億円です。中国元で+8億円、富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で-32億円です。

<3>原価低減で+109億円です。

そのうち、富士重工が+110億円、SIAは-1億円です。富士重工では、原価低減が+159億円、原材料・市況等については-49億円を見込みます。SIAでは原価低減が+18億円、原材料等は-19億円と計画しています。

一方、減益要因は、

<4>諸経費等の増で-582億円です。内訳は3つに分かれます。

- ①製造固定費の増加により-94億円です。そのうち、富士重工が-57億円、SIAは-37億円です。富士重工では、外製型費の減により+15億円、固定加工費は増加し-72億円です。SIAでは、外製型費の増により-15億円、固定加工費も増加を見込み-22億円です。
- ②販売管理費の増加で-429億円です。富士重工では、新型車導入に伴う費用の増加等から、-65億円を計画しています。国内ディーラーは-4億円、SOAは-194億円、カナダ子会社は-15億円、その他で-151億円です。
- ③クレーム費の増で-59億円です。

<5>試験研究費の増加で-239億円です。

以上で、2015年3月期の通期営業利益は、555億円の増益となる、3,820億円を計画しています。

通期 海外子会社業績



(Million US\$)

SOA	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
売上高	11,005	13,119	+2,114
営業利益	184	443	+259
当期純利益	111	267	+156
小売販売台数(千台)	442.3	510.3	+68.0

SIA	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
売上高	3,848	4,769	+921
営業利益	265	165	▲100
当期純利益	167	104	▲63
スバル生産台数(千台)	163.5	209.4	+45.9

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

13

SOAの通期小売販売は、新型レガシィ・アウトバックの導入とフォレスターの好調な販売により、対前年6万8千台増の51万台を目指します。

売上高は対前年+\$2,114Mの\$13,119Mを見込みます。

営業損益につきましては、数量・構成差+\$453M、販管費の増-\$194Mにより、対前年+\$259Mの\$443Mを計画します。

SIAの売上高は、前年に対し、+\$921Mの\$4,769Mを見込みます。

営業損益は、数量価格構成差-\$64M、原価低減活動-\$1M、固定費増-\$35Mにより、対前年-\$100Mとなる\$165Mを見込みます。

設備投資・減価償却費・試験研究費・有利子負債



(億円)

	2014年3月期 2Q累計 実績	2014年3月期 通期 実績 (a)	2015年3月期 2Q累計 実績	2015年3月期 通期 計画 (b)	増減 (b) - (a)
設備投資	273	685	597	1,200	+515
減価償却費	260	549	277	660	+111
試験研究費	299	601	363	840	+239
有利子負債	2,918	2,697	2,322	2,200	▲497

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

14

最後に、設備投資、減価償却費、試験研究費、有利子負債についてです。

試験研究費につきましては、将来商品に向けた研究開発を加速させるべく、前回計画から100億円増加の840億円を計画しています。

有利子負債につきましては、業績状況等を鑑み、前回計画から200億円引き下げ、2,200億円を予定しています。

設備投資、減価償却費は、前回計画からの変更はなく、計画に則った投資を行ってまいります。

次ページ以降は、セグメント情報や、各種指標、前回計画と今回計画の差など、ご参考となります。

以上で2015年3月期 第2四半期決算の説明を終わります。

ありがとうございました。

ご参考 (1)

- ・ 連結営業外収支 / 特別損益
- ・ セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・ 海外売上高
- ・ 単独販売台数

第2四半期累計 連結営業外収支 / 特別損益



(億円)

	2014年3月期 2Q累計 実績	2015年3月期 2Q累計 実績	増減
金融収支	0	▲1	▲1
為替影響	▲39	▲98	▲58
その他	▲6	1	+7
営業外収支	▲45	▲97	▲52
固定資産売却益	1	4	+3
投資有価証券売却益	1	4	+3
固定資産除売却損	▲10	▲17	▲6
その他	▲2	▲5	▲3
特別損益合計	▲9	▲13	▲3

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

16

第2四半期累計 事業セグメント別業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2014年 3月期 2Q累計 実績	2015年 3月期 2Q累計 実績	増減	2014年 3月期 2Q累計 実績	2015年 3月期 2Q累計 実績	増減
自動車	10,527	12,280	+1,753	1,423	1,785	+362
航空宇宙	535	638	+103	69	59	▲10
産業機器	157	148	▲9	2	1	▲0
その他	37	36	▲1	11	9	▲3
消去・全社	/	/	/	2	3	+0
合計	11,256	13,102	+1,846	1,507	1,857	+350

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

17

第2四半期累計 所在地別セグメント業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2014年 3月期 2Q累計 実績	2015年 3月期 2Q累計 実績	増減	2014年 3月期 2Q累計 実績	2015年 3月期 2Q累計 実績	増減
日本	4,691	4,466	▲225	1,324	1,358	+34
北米	5,817	7,264	+1,446	231	416	+185
その他	749	1,373	+625	3	97	+94
消去・全社				▲51	▲14	+37
合計	11,256	13,102	+1,846	1,507	1,857	+350

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

18

第2四半期累計 連結海外売上高



(億円)

	2014年3月期 2Q累計 実績	2015年3月期 2Q累計 実績	増減
北米	6,172	7,751	+1,579
欧州	562	601	+40
アジア	582	1,183	+600
その他	635	639	+5
合計	7,951	10,174	+2,224

第2四半期累計 単独販売台数



(千台)

	2014年3月期 2Q累計 実績	2015年3月期 2Q累計 実績	増減
国内生産	310.1	344.0	+33.9
国内売上	91.9	76.0	▲15.9
登録車	64.8	60.3	▲4.5
軽自動車	27.2	15.7	▲11.4
輸出台数	231.6	261.3	+29.7
海外生産用部品	79.9	100.8	+20.9
単独売上合計	403.5	438.2	+34.8

※ 国内生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

20

ご参考 (2)

- ・ 第2半期(3か月) 連結業績
- ・ 第2四半期累計 連結業績 期初計画と実績との差
- ・ 通期 連結業績計画 期初計画と今回計画との差

第2四半期(3か月) 連結完成車販売台数



(千台)

	2014年3月期 2Q 実績	2015年3月期 2Q 実績	増減
登録車	33.0	36.1	+3.1
軽自動車	13.6	8.3	▲5.3
国内合計	46.6	44.3	▲2.3
米国	102.5	137.5	+35.0
カナダ	9.3	11.3	+2.0
ロシア	4.3	4.6	+0.3
欧州	8.1	8.7	+0.6
豪州	9.6	9.8	+0.2
中国	13.3	13.1	▲0.2
その他	7.8	8.6	+0.8
海外合計	154.9	193.6	+38.7
合計	201.5	237.9	+36.4

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算4~6月 22

第2四半期 (3か月) 連結業績



(億円)

	2014年3月期 2Q 実績	2015年3月期 2Q 実績	増減
売上高	5,787	7,168	+1,381
国内	1,729	1,766	+38
海外	4,058	5,402	+1,344
営業利益	811	1,069	+259
経常利益	817	954	+137
税前利益	812	940	+128
当期純利益	513	608	+94
単独為替レート	¥98/US\$	¥102/US\$	+¥4/US\$

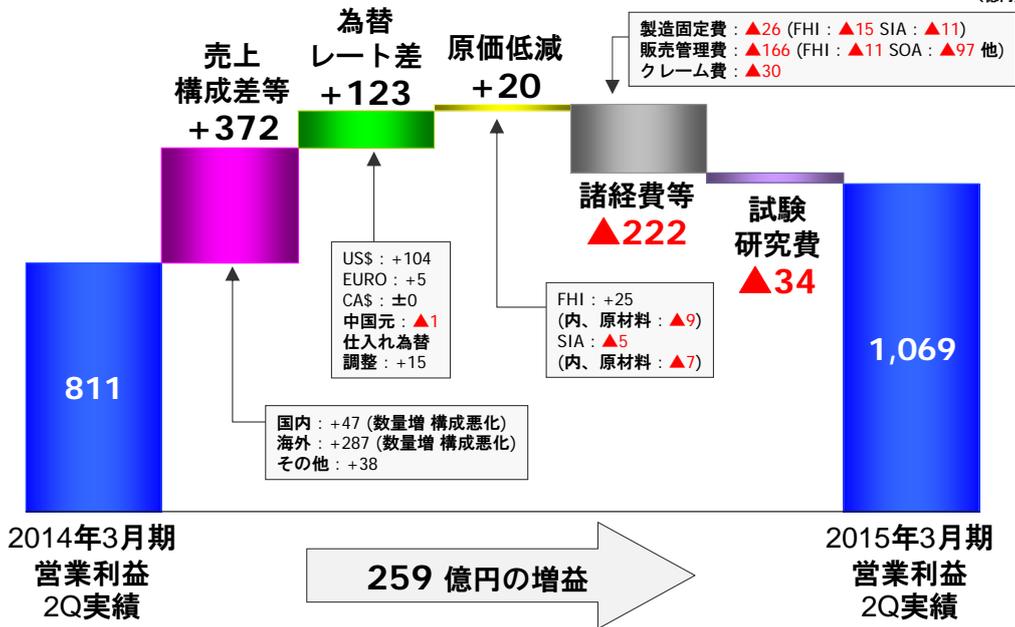
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

23

第2四半期 (3か月) 営業利益増減要因



(億円)



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

24

(計画対比)
第2四半期累計 連結完成車販売台数



(千台)

	2015年3月期 2Q累計 計画	2015年3月期 2Q累計 実績	増減
登録車	70.5	56.5	▲14.1
軽自動車	22.6	15.1	▲7.5
国内合計	93.2	71.5	▲21.6
米国	233.9	249.9	+16.0
カナダ	21.7	22.1	+0.4
ロシア	9.2	8.6	▲0.6
欧州	18.4	15.6	▲2.8
豪州	19.0	19.3	+0.3
中国	27.6	28.7	+1.2
その他	15.8	15.9	+0.1
海外合計	345.6	360.1	+14.4
合計	438.8	431.6	▲7.2

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～6月 25

(計画対比)
第2四半期累計 連結業績



(億円)

	2015年3月期 2Q累計 計画	2015年3月期 2Q累計 実績	増減
売上高	13,000	13,102	+102
国内	3,426	2,928	▲498
海外	9,574	10,174	+600
営業利益	1,600	1,857	+257
経常利益	1,560	1,760	+200
税前利益	1,540	1,747	+207
当期純利益	1,010	1,130	+120
単独為替レート	¥100/US\$	¥102/US\$	+¥2/US\$

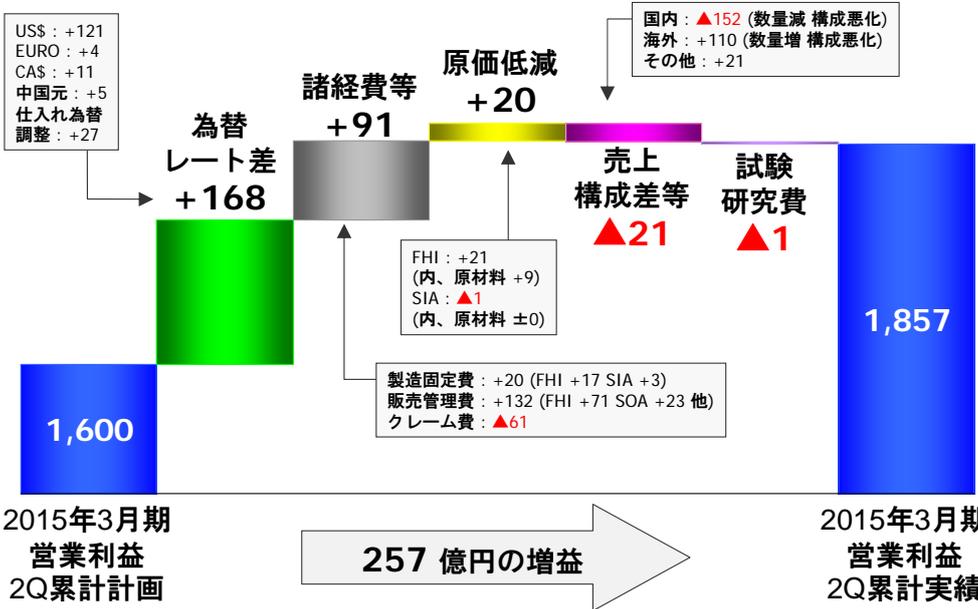
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

26

(計画対比)
第2四半期累計 営業利益増減要因



(億円)



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

27

(前回計画対比)
通期 連結完成車販売台数



(千台)

	2015年3月期 前回計画	2015年3月期 今回計画	増減
登録車	143.7	125.7	▲18.0
軽自動車	51.2	40.8	▲10.4
国内合計	194.9	166.5	▲28.4
米国	490.2	513.2	+23.0
カナダ	40.4	40.7	+0.3
ロシア	19.3	18.7	▲0.6
欧州	40.3	36.0	▲4.3
豪州	40.1	38.2	▲1.9
中国	57.3	60.0	+2.7
その他	33.5	36.1	+2.6
海外合計	721.1	742.8	+21.7
合計	916.0	909.4	▲6.6

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～12月 28

(前回計画対比)
通期 連結業績



(億円)

	2015年3月期 前回計画	2015年3月期 今回計画	増減
売上高	27,200	27,800	+600
国内	7,032	6,582	▲450
海外	20,168	21,218	+1,050
営業利益	3,400	3,820	+420
経常利益	3,300	3,700	+400
税前利益	3,240	3,640	+400
当期純利益	2,150	2,410	+260
単独為替レート	¥100/US\$	¥104/US\$	+¥4/US\$

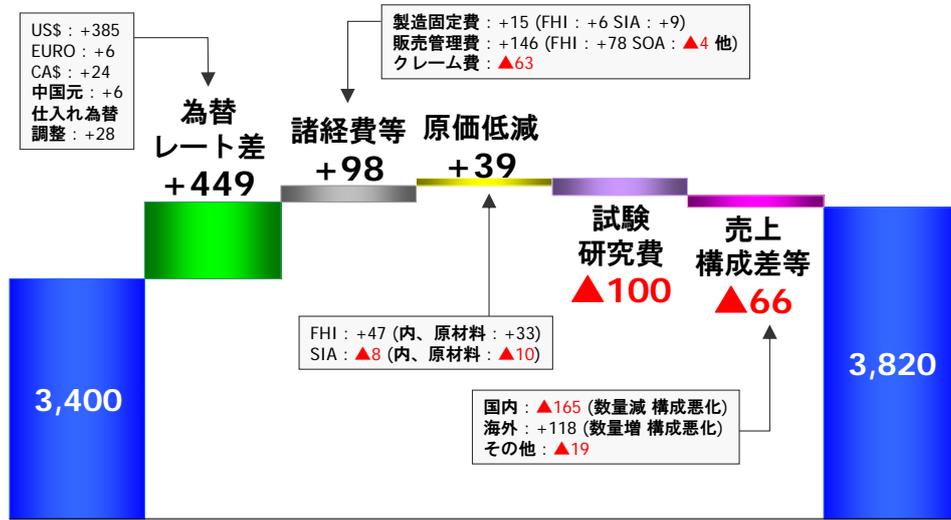
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

29

(前回計画対比)
通期 営業利益増減要因



(億円)



2015年3月期
 営業利益
 前回計画

420 億円の増益

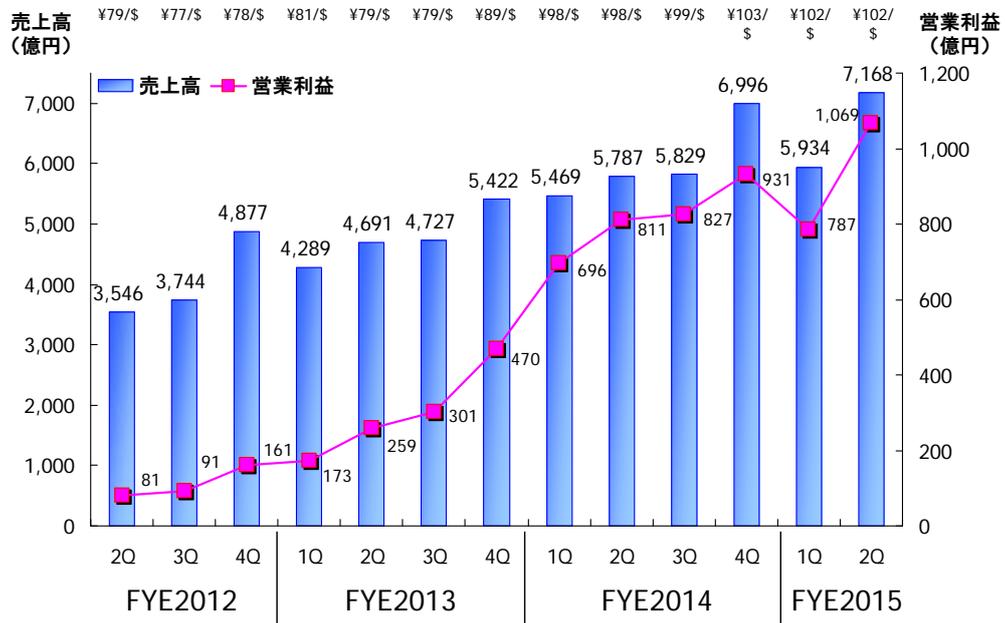
2015年3月期
 営業利益
 今回計画

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

ご参考 (3)

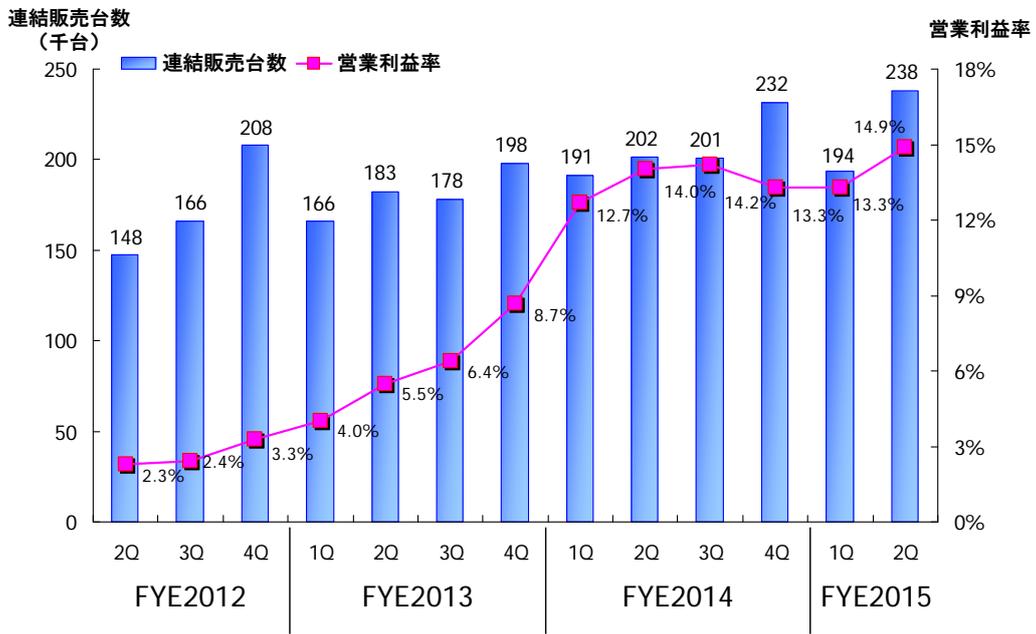
- ・売上高 / 営業利益 推移
- ・連結販売台数 / 営業利益率 推移
- ・生産台数 / 小売台数 推移
- ・FCF / 自己資本比率 推移
- ・有利子負債 / D/Eレシオ 推移
- ・主な広報発表案件

売上高 / 営業利益 推移



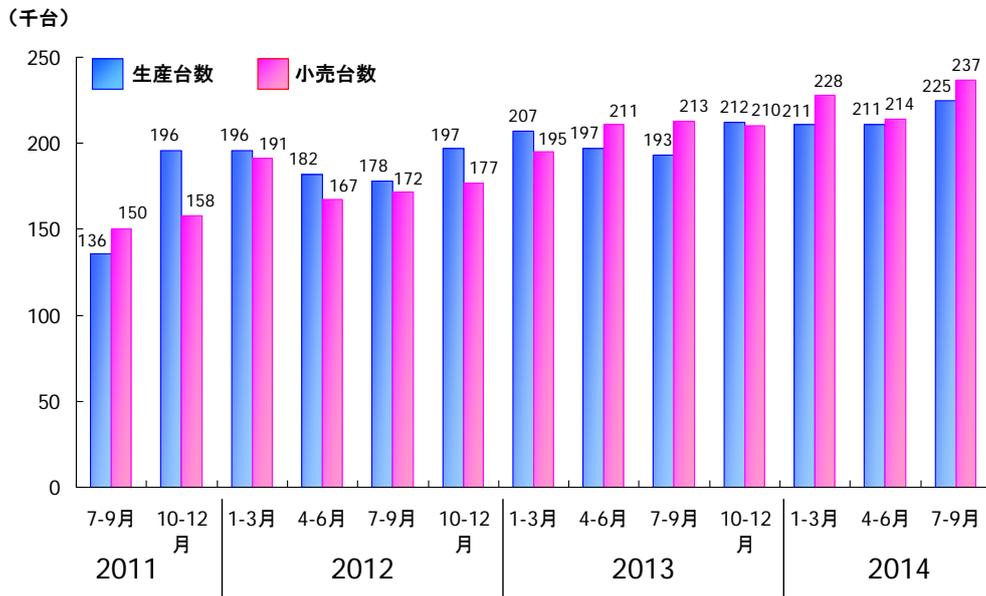
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

連結販売台数 / 営業利益率 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

生産台数 / 小売台数 推移

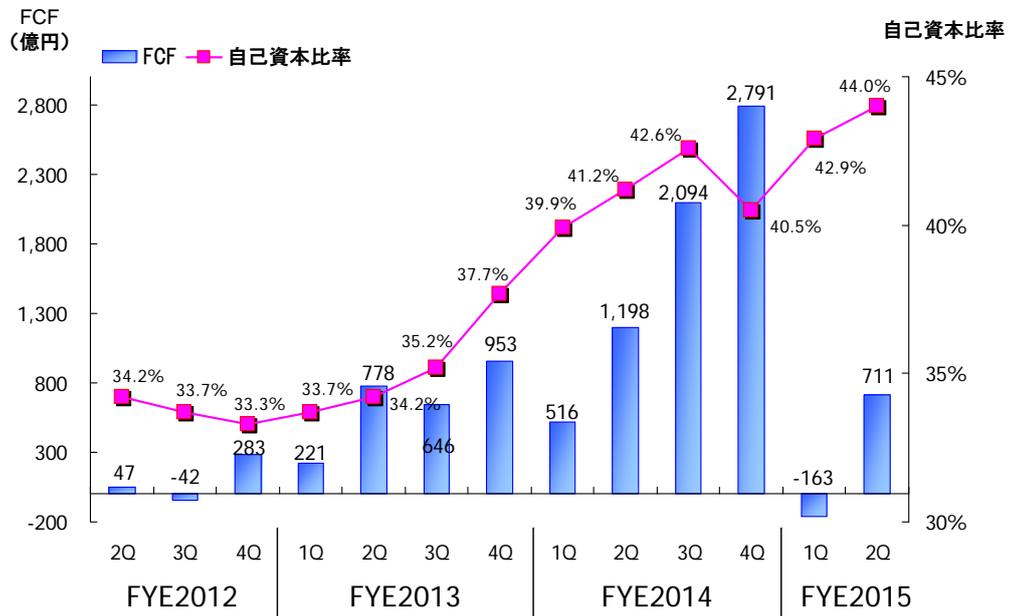


※ 生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

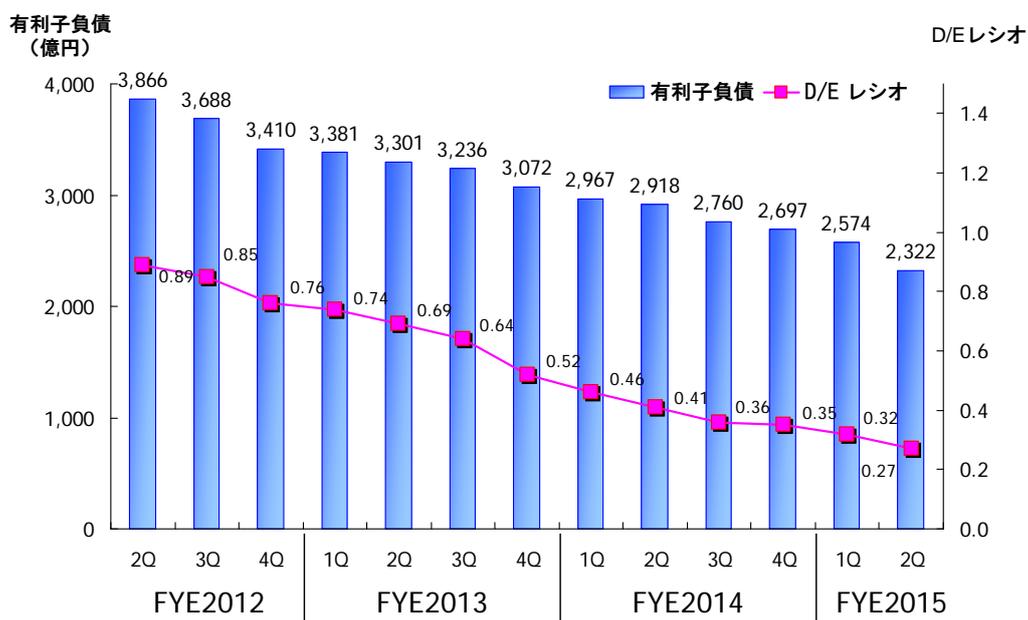
34

FCF / 自己資本比率 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

有利子負債 / D/Eレシオ 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

第2四半期 主な広報発表案件



(発表日)

商品関係

- インプレッサ（米国仕様）を改良 (9/26)
- 新型WRX S4／WRX STIの受注状況について (9/25)
- 新型サンバートラックを発表 (9/2)
- 新型WRX S4 / WRX STIを発表 (8/25)
- エクシーガを改良 あわせて特別仕様車「AIRBREAK」を発表 (7/17)
- プレオ プラスを改良 (7/9)

受賞関係

- 新型レガシィ/アウトバックが米国IIHSの2014年安全評価で最高評価 (8/20)
- BRZが米国IIHS2014年安全評価で「トップセイフティピック」を受賞 (7/31)

その他

- 役員の新任について (9/26)
- 第41回 国際福祉機器展 出展概要 (9/24)
- 富士スバルライン周辺的环境維持活動に協力 (9/18)
- スバルビジターセンター見学者数 100万人達成 (9/8)
- XV スペシャルサイト「Forever Active」をオープン (9.2)
- 平成26年8月豪雨被害に対する支援について (8/28)
- 本社を新社屋へ移転 (8/6)
- ファンボローエアショーへ出展 (7/11)

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

37



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみで全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>